



SST経験交流ワークショップin北海道

2026

空と大地とSST

そして、太陽のように輝くSST実践者たち、集まれ！

主催：SST普及協会 共催：SST普及協会北海道支部

空気・水・たべもの・・・
コミュニケーション

2026年

7月25日（土曜日）

7月26日（日曜日）

開催時間…25日13:00～26日16:00

※フォローアップ研修会 9:30～

会場：札幌医科大学 保健医療学研究棟（予定）

札幌市中央区南2条西17丁目

※会場への問合せはご遠慮ください

講演会 シンポジウム

フォローアップ研修会

認定講師研修会

ワークショップ各種



第30回経験交流ワークショップ in 北海道のご案内

大会長：土田 正一郎

「私は個人的に今ではなく、これから先のことを考えていることが多い。患者さんの不適切な行動も今抑えるのではなく（仕方なく抑える時もあるが）、理想的にはご本人がその行動の不適切さに自分で気付いて自らの思いで適応的な行動に行動変容する方がしっかり身に付くし、定着率もよいと思っている。何か大きな外力で強制的に変えるより、必然的な流れの中で緩やかに無理なく変化していくほうが環境にも体にも良いものだと信じている。利根的な仮初の平和に拘ってその場しのぎを繰り返していると、百害あって一利なし（誰の幸せにもなっていない）であるということが、日本の政治の現状を見れば自明のことと簡単に理解できる。折角生きているのだから、今をよく生きるだけでなく、これからの世代がよりよく生きられることに少しでも貢献したいと、ちょっと遅いが50歳を過ぎてから強く思うようになった。



という訳でやっと今回のワークショップのテーマである。北海道と言えば、果てしなく広がる「空と大地」というイメージを持たれやすいが、これから100年後の北海道のイメージは「空と大地とSST」となるように多くの北海道民が日常生活の中で普通にSSTマインドに基づいて生活しているようにするという野望を抱いている。いつも日にか、そういう北海道に出会うための日々のSST普及活動である。」

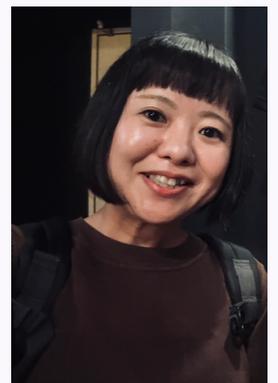


実行委員長
大濱伸昭

テーマ「空と大地とSST」

生物学者のM. スワンソン女史は人間が生きていくために不可欠な要素として、『水』『空気』『食べ物』に加えて『コミュニケーション』を挙げています。そして、コミュニケーションとは、“人間の心の温かさの交換”つまり“思いやりのやりとり”であると言っています。SSTが人とのつながりにおいて、必要な支援であることと、北海道のイメージを加えたテーマとなっています。

開催日は、令和8年7月25～26日の2日間、会場が最終決裁の関係で予定となっておりますが、札幌のホテルの予約はお早めに…！！主なる内容としては、会長講演、大会長講演、シンポジウム、フォローアップ研修、認定講師研修会など盛りだくさんの企画とともに情報交換会も行います。特に分科会では、通常の方科会とともに「会員企画セミナー」を募集致します。詳細がわかりましたらお知らせいたします。



大会事務局長
三浦由佳